

一般社団法人日本ケーブルラボ
第6回 功労者表彰受賞者の功績等の概要

(敬称略)

氏名	功績概要
<small>なかばやし たくや</small> 中 林 卓 也	<p>長年、技術委員会常任委員として、幅広く委員会の活動に貢献してきた。近年では、技術委員会内の各検討アドホックの主任として、調査報告書等の作成を主体的に進めてきた。特に、IP放送提供に向けたWi-Fiの調査やガイドライン作成では、様々な試験データのとりまとめと分析を主導し、着実に成果をとりまとめた。これらの調査、ガイドラインは、今後、ケーブル事業者が宅内でWi-Fiを用いたIP放送を提供する際の技術的な指標となるものである。また、本成果をワークショップで発表するなどケーブル業界のIP放送の啓蒙、普及活動にも大きく貢献した。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・技術委員会常任委員 ・データ分析技術者育成のためのガイドラインアドホック 主任 ・IP放送提供に向けた宅内Wi-Fi調査アドホック 主任 ・Wi-Fiガイドラインアドホック 主任 	
<small>いわさ たつや</small> 岩 佐 達 矢	<p>ケーブル業界において、いち早くIP放送を開始したケーブルテレビ徳島のキーパーソンとして、早くからケーブル業界に向けてIP放送の普及、啓蒙に貢献してきた。また、IP放送技術ワーキンググループの主任として、様々な意見を持つ事業者、ベンダを中心とした46名のメンバーに闊達な議論を促し、対立する意見も適切に集約、実証試験のスケジュールを見据え、着実に3つのIP放送運用仕様を制定、改定した。これらIP放送運用仕様は、本年3月より開始したIP放送の実証試験、その後の商用サービスへ適用される。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・IP放送技術ワーキンググループ 主任 	
<small>しまだ はじめ</small> 嶋 田 創	<p>当法人の理事及び運営委員として5年間にわたり、当法人の活動に携わる。その間、当法人が重点的に取り組んだ「オールIP」を中核とした「5つの重点分野」である有線・無線、新サービス・サービス品質への取り組みに対し、事業者の立場から事業を見据えた意見具申を行い、その推進に貢献した。また、当法人が会員とともに実施する実証試験においては、後に自社施設提供などに繋がる当法人と連携の礎を築いた。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・理事 ・運営委員 	
<small>ひらいで としひこ</small> 平 出 利 彦	<p>現在の日本ケーブルラボの前身であるJCTA日本ケーブルラボより勤務を開始し、現ラボ設立後は実用化開発部長として運用仕様の策定に取り組む。特に、日本ケーブルラボ設立直後の最大の成果である次世代STB技術仕様の策定に主管部署の長として、その完成に注力した。また、当法人退職後は、2016年度にスタートしたJQE資格制度の構築、テキスト作成に尽力し、2019年JQE委員会設置とともに社外委員として制度の運営に大きく貢献した。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・実用化開発部長 ・JQE委員会 委員 	

以 上